

研究課題名	ロボット支援腎部分切除術における 3DCT 画像を用いた術中ナビゲーションの有用性に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科腎泌尿器科学 教授 日向 信之
研究期間	実施許可日 ~ 2025 年 12 月 31 日
対象者	2015 年 4 月から 2025 年 3 月の間に、広島大学病院泌尿器科でロボット支援腎部分切除術を受けられた患者さん。
意義・目的	腎泌尿器科領域において、ロボット支援手術が普及し、高精度の視野での繊細な操作が可能になっていますが、特に腎部分切除術においては個々の症例における CT 画像による 3 次元的な解剖の把握が安全な手術遂行において必須です。また、その画像を用いて、術前の切除腎容積を算出し、個々の腎機能に応じた切除許容量を正確に把握した上で術式を検討することは、術後合併症の発生予防に極めて重要です。今回、ロボット支援腎部分切除術において 3 次元 CT 画像を用いた術中ナビゲーションの有効性を評価することで、手術の治療効果を最大化し、合併症を減少させるため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、診断名、血液検査、画像検査、手術所見です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ。 情報は、実施許可日（2022 年 10 月 25 日）以降利用します。
共同研究機関	ありません
外部への試料・情報の提供	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科腎泌尿器科学 教授 日向信之
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5242

広島大学病院泌尿器科 教授 日向 信之

広島大学病院泌尿器科 助教 池田健一郎